

YAMAGATAバドミントンメモリアルカップ2020

競技・審判上の注意

<競技上の注意>

- 1 本大会は、(公財)日本バドミントン協会競技規則、同運営規程、並びに公認審判員規程により行います。
- 2 受付は、南東アリーナ入口で8時15分より次のとおり行います。
 - (1) 「健康状態確認シート」の提出及び検温
 - (2) 参加料納入、プログラム等受領
 - (3) 観客席に移動し、競技の準備をしてください。
- 3 開会式前の練習は、8時40分から9時00分まで10分交代で行います。コート割はタイムテーブルを参照ください。
開会式は、9時05分より放送により行います。選手は観客席での参加となります。
- 4 競技は9時30分より開始します。
- 5 男子は、予選リーグの1位が決勝トーナメントに進むことができます。女子は、予選リーグ1位、2位が決勝トーナメントに進むことができます。予選リーグで敗退した選手を対象に、交流試合1試合を実施します。(組合せは主催者で行います)
- 6 予選リーグの順位決定方法は、次のとおりとします。
 - ① マッチ数の多い者
 - ② ゲームの得失差の大きい者
 - ③ ポイントの得失差の大きい者
 - ④ 上記①から③で決定できない場合は、抽選とします。
- 7 試合は、全て21点3ゲームマッチで行います。
- 8 試合が連続する場合のインターバルは10分間とします。
- 9 コーチングシートは設けません。
- 10 使用球は主催者側で準備します。
- 11 ウェアは審査合格品とします。背面への所属、地区名等の表示は求めません。
- 12 コートサイドに荷物用のかご、ドリンクケースは設けません。荷物は、各自、バック等に入れてコートサイドに置いてください。ドリンクがこぼれないよう十分注意してください。
- 13 空きコートでの練習は禁止します。
- 14 選手はコールされたら速やかにコートに入ってください。
コールされてから5分経過しても入らない場合は、失格を宣する場合もあります。
- 15 マッチ中の怪我や病気による中断は、中断時間をレフェリーが判断し、相手選手と主審に告げます。
また、出血・嘔吐をした場合は、直ちに中断しレフェリーが判断・対応します。
なお、当事者からの棄権申告についてもレフェリーが判断します。

<審判上の注意>

- 1 予選リーグは、各コート2つのブロックを割り当てます。審判(主審、ラインジャッジ、得点係)は、当該試合の競技を行っていないブロックの参加者で行ってください。
決勝トーナメントは敗者審判制とします。
- 3 準決勝より公認審判員が主審を行います。
- 4 競技規則の特に第9条(サービス)、第16条(プレーの継続、不品行な振る舞い)は、厳正に判定します。
なお、サービスジャッジの要請があった場合は、レフェリーの判断により配置するかを決定します。
- 5 インプレー中のアドバイスが主審によって確認された場合は、レットを適用してレフェリーの判断により厳正に対処します。
- 6 インターバル中に、着替え等によりコートを離れ時間内に戻らない場合はフォルトとします。
- 7 オーバールールは公認審判員が主審の際に適用します。

新型コロナウイルス感染症の対応について

- 1 本大会は、(公財)日本バドミントン協会「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン(3章バドミントン競技大会・イベント実施に当たって)」(令和2年6月12日付)に基づき実施します。参加選手及び大会関係者(大会役員・審判員等)は、「当日に関する確認事項」(大会関係者向け別表1、選手向け別表2)を確認の上、遵守願います。
- 2 当日の健康状態等を把握するため、(公財)日本バドミントン協会の「健康状態確認シート」別紙1個人(県バドミントン協会HPに掲載)をダウンロード・印刷し、氏名、性別、年齢、当日朝の検温、2週間前までの健康状態等を記入の上、受付時に提出してください。
- 3 次の事項に該当する場合は、参加を見合わせてください。
 - ① 発熱や感冒症状(咳、全身倦怠感など)がある。
 - ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる。
 - ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある。